

第 37 回横浜マリンボールカップ女子 Bゾーン決勝 8月7日(日)

原・三ツ境ミハースカットボールクラブ 32 vs 35 下府中ミハースカットボールクラブ

1Q

原三ツ境はオールコートマンツーマン、下府中はハーフコートマンツーマンでスタート。原三ツ境は#4のロングシュートやドライブから得点を重ねる。それに対し下府中は#5のゴールしたを中心に得点を重ねる。どちらもペースをつかめずに1Q目は下府中の2点リードで終える。(6-8)

2Q

お互いにディフェンスに変更はない。原三ツ境#5のミドルシュートから始まり、連続して原三ツ境がシュートを決め逆転する。それに対し下府中は#4の1対1から得点を重ねていく。下府中#4をを抑えられずに点差が広がり2Q目も下府中の6点リードで終える。(14-20)

3Q

ディフェンスの形はお互いに変更はない。下府中#6のレイアップシュートから始まり、下府中がディフェンスで原三ツ境から30秒オーバータイムを取る。下府中は#4、#5、#6のミドルシュートで得点を重ねていく。原三ツ境は残り1分を切るまで3Q目は得点をできずに進む。下府中は#5を中心にリバウンドを抑えていく。原三ツ境は細かいミスが増えてきている。下府中のペースでゲームが進み3Q目は下府中が12点リードで終える。(17-29)

4Q

お互いにオールコートディフェンスに変更されて4Q目をスタート。原三ツ境は#4、#5を中心にミドルシュートやゴール下のシュートで、追い上げていく。下府中はオールコートでディフェンスされた事により今までのプレーができずに苦戦する。原三ツ境は追い上げるも3点届かず、終始リバウンドで優位であった下府中の勝利となった。(32-35)

